ユーロフィンアースコンサル株式会社

2022年度環境経営レポート

【 対象期間 ： 2022 年 1 月 ～ 2022 年 12 月 】

発行日 ： 2023 年 4 月 27 日

目　　次

1. 事業活動の概要 …… 3

2. 環境経営方針 …… 4

3. 実施体制及び役割分担 …… 5

4. 環境経営目標 …… 6

5. 環境経営活動計画と取組内容 …… 7

6. 環境経営活動計画の取組結果とその評価 …… 9

7. 次年度の取組計画 …… 11

8. 環境関連法規制の遵守状況 …… 11

9. 代表者における全体評価と見直しの結果 …… 12

1. 事業活動の概要

(1)名称及び代表者名

名　　称　：　ユーロフィンアースコンサル株式会社
代 表 者 名　：　代表取締役 社長　　長束 要祐

(2)所在地

〒939-0351　　富山県射水市戸破 8-17

(3)環境管理責任者、担当者の氏名及び連絡先

責　任　者　：　下村　　勝
担　当　者　：　伏黒 泰星
連　絡　先　：　Tel　0766-56-1180　　Fax　0766-56-8811

(4)業務内容

環境全般(大気、水質、作業環境、騒音、振動、悪臭、底質、産業廃棄物、土壌汚染、アスベスト、測量設計等)に関する調査・測定・分析業務及び、騒音、局所排気等の環境対策業務

(5)事業規模

売　上　高　：　450 百万　　(2022 年度)
従　業　員　：　63 名　　(2022 年 12 月末現在)
延べ床面積　：　980 m^2

(6)認証・登録の対象組織及び活動

登録組織名　：　ユーロフィンアースコンサル株式会社
活　　動　：　・ 環境計量証明業務
・ 環境調査業務
〔大気、水質、作業環境、騒音、振動、悪臭、底質、
産業廃棄物、土壌汚染、アスベスト、測量設計等に
関する調査・測定・分析〕
・ 環境対策業務
〔騒音、局所排気〕

2. 環境方針

ユーロフィンアースコンサル株式会社
環境経営方針

＜基本理念＞

当社は、環境総合コンサルタントとして調査・分析・測定及び自然環境調査、環境アセスメント、環境保全対策のコンサルティングを行い、環境問題に取り組みます。

これらの取り組みを通して、地域環境の保全を図り、持続的発展が可能な社会の構築と、より良い環境の創造のために貢献します。

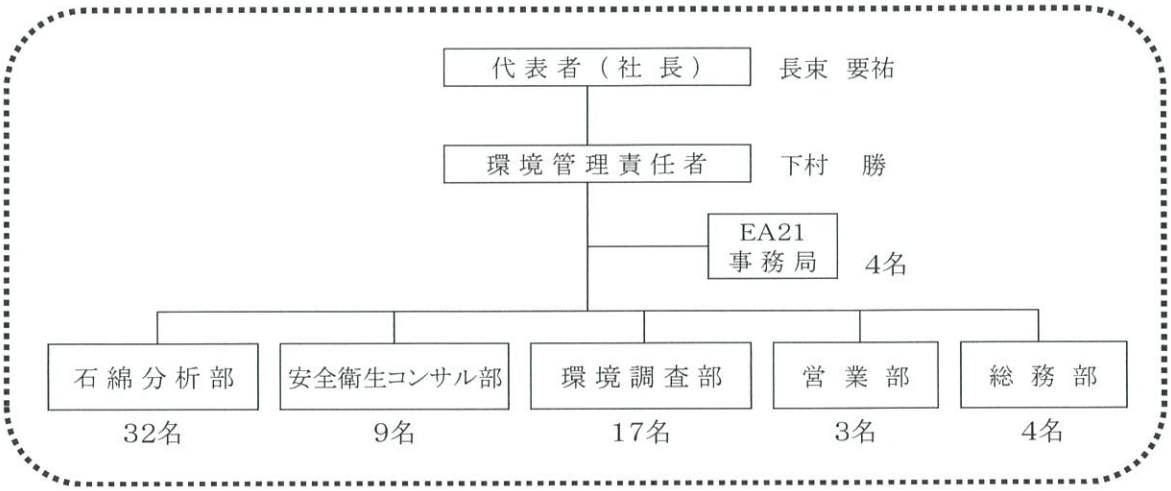
＜行動指針＞

1. 環境調査業務及び地域活動を通して、社会に貢献します。
2. 経営における課題とチャンスを踏まえて改善・対策の実施に取り組みます。
3. 環境経営の継続的改善に積極的に取り組みます。
4. 調査・分析・測定業務における省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に取り組みます。
5. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
6. 災害・事故等発生時の対策を整え、環境影響の低減に取り組みます。
7. 環境経営方針は全社員に周知すると共に、環境経営レポートを公開します。

制定日 ： 2018 年 6 月 21 日
改定日 ： 2021 年 10 月 1 日

代表取締役 社長　長束 要祐

3. 実施体制及び役割分担



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人材、設備、費用、時間、技能の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書の確認 ・代表者への環境経営活動取組結果の報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷及び取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
各部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成及び テスト・訓練の実施、、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動への参加

4. 環境経営目標

2017年度（平成29年度）の実績を基準とし、2021年度から3年間（2021～2023年度）の環境経営目標を設定しました。

環境への負荷		単位	2017年度（平成29年度） 基準年度	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）
電力消費量		kWh／売上	584	555	549	516
			対基準年度比	Δ5%	Δ6%	Δ7%
灯油消費量		ℓ／売上	－	－	－	－
			－	－	－	－
プロパンガス消費量〔液化石油ガス(LPG)〕		m^3／売上	23	23	23	23
			対基準年度比	Δ1%	Δ2%	Δ3%
ガソリン消費量		ℓ／売上	44	42	41	41
			対基準年度比	Δ5%	Δ6%	Δ7%
軽油消費量		ℓ／売上	－	－	－	－
			－	－	－	－
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg／売上	4.6	4.5	4.4	4.4
			対基準年度比	Δ3%	Δ4%	Δ5%
	産業廃棄物	kg／売上	74	74	73	72
			対基準年度比	Δ1%	Δ2%	Δ3%
水使用量		m^3／売上	5.8	5.5	5.4	5.4
			対基準年度比	Δ5%	Δ6%	Δ7%
化学物質使用量（購入量）		kg／年	243	適正な管理 購入量の把握	適正な管理 購入量の把握	適正な管理 購入量の把握
			対基準年度	—	—	—
事務用品グリーン購入率		%／年	51	購入率の把握	購入率の把握	購入率の把握
			対基準年度比	—	—	—
環境配慮 （環境監視の迅速対応）		遅れ件数	0	0	0	0
			対基準年度	0件維持	0件維持	0件維持
社会貢献		実施件数	1回	1回以上	1回以上	1回以上
			対基準年度	—	—	—

5. 環境経営活動計画と取組内容

二酸化炭素排出量削減

(1)電力の削減

取組内容: 節電の意識付け(朝礼での啓蒙、状況報告)
節電の実施
(昼時間の有効的な消灯、トイレ及び更衣・物置棟での消灯チェック)
空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)

中期計画: 省エネ器具(照明等)の導入、照明設備のLED化

(2)プロパンガスの削減

取組内容: 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)
夏季の温水使用の削減

中期計画: 燃費のよい設備の導入

(3)自動車燃料の削減

取組内容: アイドリングストップの実施、急加速・急停車の防止
エコドライブの取組検討

中期計画: 更新時に燃費のよい車両の導入、エコドライブの取り入れ

廃棄物排出量削減

(1)一般廃棄物の削減

取組内容: 分別の徹底、作業ミスによる廃棄物発生量の削減

中期計画: 紙ごみのリサイクル化

(2)産業廃棄物の削減

取組内容: 分別の徹底、業務上のやり直し等による廃棄物発生量の削減
定期的な点検・整備の実施による廃棄機器発生の削減

中期計画: 有価物のリサイクル化

排水量削減

(1)水道水の削減

取組内容: 節水の意識付け(朝礼での啓蒙、掲示 等)

こまめな節水(使用中の不要な出しっぱなしの防止 等)

中期計画: 節水こまの取付、冷却水の循環再利用

化学物質使用量削減

(1)化学物質使用量の削減

取組内容: 購入量の把握、過剰使用(無駄)の削減

薬品庫の施錠(安全管理)

グリーン購入

(1)事務用品のグリーン購入

取組内容: グリーン購入の意識付け

経費負担増にならない範囲でのグリーン購入の実施

環境配慮サービス

(1)環境配慮サービスの促進

取組内容: 顧客への環境改善提案、ネットワーク環境情報誌の活用

異常値(測定値)の迅速な報告、報告件数の把握

6. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

今年度は、一般廃棄物の排出量削減が達成出来ませんでした。

コロナ禍での感染予防対策として、使い捨てペーパータオルの使用、不織布マスクの使用が一般廃棄物の増加の一因となりました。

目標未達成でしたが、感染者やクラスターの発生を防止出来たのは、成果であったと考えます。

環境への負荷		単位	基準値 2017年度 (平成29年度)	目標値 2022年度 (令和4年度)	実績値 2022年度 (令和4年度)	増減率 (%)	評価 ◎:達成 ×:未達
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	−	−	284,407	−	−
電力消費量		kWh／売上	584	549 (−6%)	343	−37.5%	◎
灯油消費量		ℓ／売上	−	−	−	−	−
プロパンガス消費量 〔液化石油ガス(LPG)〕		m^3／売上	23	23 (−2%)	15	−34.8%	◎
ガソリン消費量		ℓ／売上	44	41 (−6%)	19	−53.7%	◎
軽油消費量		ℓ／売上	−	−	−	−	−
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg／売上	4.6	4.4 (−4%)	4.8	9.1%	×
	産業廃棄物	kg／売上	74	73 (−2%)	62	−15.1%	◎
水使用量		m^3／売上	5.8	5.4 (−6%)	3.0	−44.4%	◎
化学物質使用量(購入量)		kg／年	243	適正管理	適正確認 (260.45)	−	◎
事務用品グリーン購入率		%／年	51	−	41	−	−
環境配慮 (環境監視の迅速対応)		件／年	0	0	0	−	◎
社会貢献		回／年	1回	1回以上	1回	−	◎

電力の二酸化炭素排出係数は、北陸電力 2021年度 調整後排出係数 0.484kg-CO_2/kWh を使用しています。

目標値 ： 基準値の各( )内の%を削減した値

増減率 ： 基準値に対して実績値の増減率

評　価 ： 増減率が＋9.0% まで達成(目標値の＋10.0% まで)

＄　社会貢献活動への取組み　＄

社会貢献活動への取組みとして、昨年に引き続いて富山県が海岸漂着物対策推進の一環として市町村と連携し、上流から下流まで県内全域での清掃美化活動を推進する運動『みんなできれいにせんまいけ大運動』に2022年9月18日、従業員有志が参加しました。

みんなできれいにせんまいけ大運動　参加報告

社会貢献　活動報告

FM とやま清掃キャンペーン～六渡寺海岸からゴミをなくすには～

従業員とその御家族11名が参加しました！

■日時　　9 月 18 日(日)　朝 8:00 から清掃開始

■場所　　射水市・六渡寺海岸

Before　　After

当社従業員およびその御家族の活動の様子

今後も社会貢献(SDG's)の一貫として活動を継続していきます。
次回の海岸清掃は、　**10 月 16 日(日)8 時から**　です。

7. 次年度の取組内容

次年度は、今年度の活動を継続することを基本として、無駄の有無の把握等、以下の項目に取組み、削減努力をします。

また、社会貢献の一環とした取り組みの企業団地内の歩道の清掃活動を継続し、外部主催のボランティア活動等への参加も積極的に取り組みます。

① 電力、プロパンガス、水道の削減
- 照明消し忘れのチェック
- エアコン消し忘れの確認
- 蛇口締め忘れのチェック

② 自動車燃料の削減
- 各車両の点検・整備及び燃費の把握
- 普通タイヤ及びスタッドレスタイヤ双方の更新管理の実施

③ 一般廃棄物・産業廃棄物の削減
- コピー用紙購入量の把握
- 回覧から一斉メールへの転換(ペーパーレスの推進)
- 電子納品への積極的導入(ペーパーレスの推進)
- ゴミ袋の有効利用(袋をいっぱいにしてからの廃棄)
- 機器の定期的な保守・点検(廃棄機器の削減)
- 廃棄時の体積減量化(解体後の廃棄)

④ 社会貢献
- 会社前の歩道の除草・清掃の実施
- 外部主催のボランティア活動等への積極的参加

8. 環境関連法規制の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況に違反等の無いことを2023年2月27日に確認しました。

また、外部からの指摘・訴訟等についても、過去3年間一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年4月20日に代表者が全体評価と見直しを行い、以下の指示がありました。

項　目		環境管理責任者 【 報告・コメント・提案 】		代　表　者 【 評価・指示・見直し 】
目標達成・実施及び運用状況	電　力	全売上から外注費用を差し引いた値あたりの消費量または発生量にて基準値及び目標値を設定した。	今年度は37.5%削減が達成出来た。 売上増加が達成にプラスに大きく影響している。次年度は新棟を加えた新たな基準と目標の設定と節約に取り組む。	一昨年度、昨年度に続き、ユーロフィングループの目標であるカーボンニュートラル目標とリンクして進めること。(出来ていないフォーマットの共通化も継続して進める) 個々の項目ごとの削減目標も大事であるが、全体としての環境負荷(とりわけCO2)削減に向けて長期的な目標、戦略を立てて進めていくこと。
	プロパンガス 液化石油ガス(LPG)		今年度は34.8%削減が達成出来た。 新棟はプロパンガスの使用がないので、次年度は本館での新たな基準と目標の設定と節約に取り組む。	
	ガソリン		今年度は53.7%削減と昨年度よりも更に削減を達成出来た。 点検・整備も定着しており、次年度は基準と目標の見直しと安全運転を継続して取り組む。	
	水　道		今年度は44.4%削減が達成出来た。 使用量がほぼ安定しているので、売上増加がプラスに影響している。 次年度は基準と目標の見直しと節約を継続して取り組む。	
	廃棄物		今年度は産廃が15.1%削減を達成出来たが、一廃は目標を上回って達成出来なかった。 コロナ禍でのペーパータオル、マスクの使用増加が要因を思われる。次年度は使用を継続しながら減量化の検討に取り組む。	
	社会貢献	今年度は外部主催活動参加による活動が出来た。 次年度も外部主催活動への積極的参加に取り組む。		コロナ禍でも出来る活動を模索し、可能な範囲で取り組みを維持すること。
環境関連法規等の遵守状況		問題がないことを確認した。 これまでと同様に年1回、法規の追加・変更等の有無を確認し、継続して遵守に努める。		継続して遵守に努める。
環境経営方針	基本理念	引き続き基本理念に従うこと及び、事業活動と整合するように取り組む。		継続して取り組む。
	行動指針	2017年版ガイドライン改訂に合わせた行動指針で今後も取り組む。		継続して取り組む。
環境経営目標		昨年度に続き、今年度も各項目が目標より大きく削減出来ての達成で、基準と目標の見直しの必要性を強く感じた。 新棟が稼働し、使用量等もこれまでと大きく変化するので、次年度は基準・目標の見直しを実施したい。		基準と目標の見直しに取り組む。
その他	緊急事態対応訓練	新棟稼働、新規従業員増員に伴って、新棟での火災避難訓練を実施した。 実施したことで発見出来た問題点を検証して改善に取り組む。 次年度以降も他の訓練の実施・検証を継続して取り組む。		発見した問題点の解消と、効果確認の再訓練等を計画的に取り組む。
	グリーン購入	今年度の購入率は昨年度と同じ41%であった。 次年度も再度、意識付けを行い、維持または増加継続に取り組む。		カーボンニュートラルにリンクすると思われるので、そちらでの取り組みとすること。